

京都市長選挙公報

京都市選挙管理委員会

元市議員5期経験 45歳 / 2児の父

村山祥栄

しがらみを断ち切る、
本気の行財政改革!
3度目の挑戦、今度こそ!
政策抜粋 京都市財政健全化を4年でやり切る。

公共施設の集約・効率化・最適化 学校歴史博物館と京都市歴史資料館の統合 市長の給与 30%カット

公有地の有効活用 公有地貸付の適正賃料を見直し 身を切る改革 給与・退職金カット

3つの計画で新しい京都を実現!

「京都に住みたい」街を計画

現役世代を呼び込むことで納税人口を増やし、財政基盤の安定化を図るとともに、住環境の改善、都市魅力の向上を図ります。

日本一の教育都市へ!

教育無償化 塾いらすの学校教育

子ども達に質の高い教育環境を提供し、将来の京都市を支える豊かな人材を輩出するとともに、その定着を目指します。

■村山 祥栄(むらやま しょうえい) 経歴

昭和53年2月7日生まれ／マクリン幼稚園、下鴨小、東山中・高、専修大学法学部卒／衆院議員秘書、(株)リクルート勤務／史上最年少25歳で左京区より市議に当選／平成23年、京都市史上過去最多得票獲得／市の不祥事や同和行政に鋭く切り込むなど活発な活動を展開(市議連続5期当選)／地域政党京都党を設立、党代表(～2019)／令和2年、京都市長選に二度目の挑戦、惜敗／大正大学客員教授(～2024)、地方議員研究会講師

「京都だから働きたい」街を計画

高収益企業誘致で所得アップ 生産性の高い企業の誘致や、スタートアップ支援などにより財源のさらなる積み増しを狙うと同時に市民所得を引き上げます。

「市民にもっと優しい」街を計画

財源のない中でも必要な福祉は、財政再建による財源確保のみならず、技術革新やDXを駆使し、これまで以上に質の高いサービスを実現します。文化首都京都へさらに発展させていくための政策を推進します。



お金で動く政治ではなく 市民とつくる政治に

福山和人は市民の皆さんからのカンパとボランティアの力で活動しています。

つなぐ KYOTO 2024

くらし。ここから
京都再生
なりわい応援 → 地域経済を
宿泊税UP、観光協力金などで福祉を削らず財政再建
元気に アップすぐやるパッケージ
市の予算 約1%ができる!!

- 4つの安心
- 削られた保育園の補助金を元にもどす
 - ひき上げられた学童保育料をひき下げ
 - 中学校給食は巨大工場ではなく学校調理で
 - 値上げされた敬老乗車証の負担ひき下げ

- 5つの無償化
- 子どもの医療費を18歳まで無償化
 - 小中学校給食をまず半額無償化
 - 第2子以降の保育料無償化 ひとり親家庭は1人目から
 - 18歳まで国保料の均等割無償化
 - 返さなくてよい給付型奨学金の創設

- 防災・減災に
人と予算を
- 避難所、消防体制を強化
 - 被災住宅支援制度、耐震・防火リフォーム助成制度を復活

- 北陸新幹線延伸などの巨大開発より暮らし
- 景観・住宅政策は、規制緩和より暮らせる住宅の整備を

アイリーン・ 美緒子・スミス 環境ジャーナリスト	沖野 修也 音楽プロデューサー・作曲家・DJ	西郷 南海子 三児の母・博士(教育学)	尾藤 康喜 弁護士
井嶋 敦子 京都市会議員	梶田 真章 法然院貢主	tupera tupera 絵本作家	福田 龍彌 総合格闘家(MIBIRO所属)
岡崎 美美 新社会党委員長	海南 友子 ドキュメンタリー監督	西谷 文和 フーランスジャーナリスト	宗接 元信 株式会社ヘルプ代表取締役社長
岡野 八代 同志社大学教員	倉林 明子 日本共産党副委員長・ 参議院議員	樋口 英明 元福井地方裁判所 裁判長	安持 なるみ れいわ新選組 衆議院京都府1区総支部長
福山 和人	福山 和人	福山 和人	福山 和人

無所属 市民派
弁護士

福山

ふくやま かずひと

和人

公式 LINE サイト QRコード

PROFILE
62歳。京都市伏見区生まれ。立命館大学法学部卒業。元・京都弁護士会副会長。まちの法律家として、債務事件、消費者被害、行政事件等の他、アスベスト訴訟など働く人の立場に立った労働事件、まちこわし反対の住民訴訟を担当。左京区在住。家族は妻と長女長男。

突き抜ける「世界都市京都」をつくる

まついい 松井こうじ

●1960年4月 京都市生まれ。京都市中京区の旅館の次男として生まれ、高校生まで旅館の一室で育つ。

●1973年5月 京都市立日影小学校卒業

●1976年9月 洛星中学校卒業

●1979年3月 洛星高等学校卒業

●1983年3月 東京大寺教養学部(教養学科国際関係論分科)卒業

京都市長候補 元内閣官房副長官



●1983年4月 通商産業省(現経済産業省)入省。
内閣副事官、通商産業省大臣官房総務課長補佐、
行政改革会議(橋本行革)事務局などを歴任

●2001年～13年 参議院議員(京都府選挙区)(2期)、
内閣官房副長官、参院内閣委員長などを歴任

慶應義塾大学総合政策学部教授(現職)

古きをいつくしみ、新き世を切り拓く —市・府・国 協調のもと—

市民第一主義で人々から選ばれるまち京都 ～子育て・教育環境の充実～

- 保育料の軽減
- 子ども医療費の無償化
- 全員制中学校給食を早期開始
- 児童園やこども食堂のような「第三の居場所」を充実
- オンライン学習・教育データ活用など、デジタル教育の充実
- 小中学校の普通教室、学校体育館の空調設備を計画的に推進
- 教員不足の解消
- 子育て世帯の定住を促進

突き抜ける魅力のある文化首都・京都

- 文化首都・京都にふさわしい「大京都圏」創出
- 国際的音楽祭など音楽文化都市・京都の魅力向上
- 国立文化財修理センターの市内への早期設置実現
- 宿泊税を引き上げ、観光課題対策を強化
- 観光ハイシーズンの休日には市民以外の方のマイカーでの市内乗り入れを抑制・制限
- 市バス・市営地下鉄の市民優先価格
- バスの生活路線の混雑緩和
- 京都駅の施設改善・機能強化による混雑緩和を図り事業者と連携して実現
- 「市民の足」地域公共交通の維持・発展
- ごみのポイ捨て(不法投棄)の規制強化

松井こうじの市政改革5つの柱

- 文化首都を支えるつよい経済の復活
京都を日本のシリコンバレーに
- 日本中、世界中の多彩な才能の移住・交流によるイノベーション、新産業の創出
 - 都市計画の見直しと連動した企業立地支援
 - 大学発ベンチャー・スタートアップの創出を加速
 - 複数住民票構想を研究し、国に提案
 - 学生の京都での就職・定着促進
 - 地域企業・中小企業との相談・支援体制を充実し経営基盤強化
 - 安心安全な市民生活、都市機能を支えるインフラ整備

すべての人に「居場所」と「出番」のある京都

- 地域ぐるみで安心安全な生活を支える
- 地域ぐるみで重層的な支援体制を構築
- 市内の周辺部における都市計画規制を参考

全国に先駆ける京都型共生社会モデルの形成

- 京都の文化・暮らしの脱炭素化
- 人と自然の共生
- 自然体験学習、文化体験学習の充実
- 誰もが生きやすい多様性・包容性のある共生社会
- 高齢などでごみ出しが困難な方への支援を充実

いのちくらしを守る防災・減災対策

- 安心安全な避難所環境の整備
- プライバシーや更衣・授乳スペースを確保する間仕切りテント
- 衛生的な段ボールベッド、災害用マンホールトイレなど
- 災害用備蓄物資の充実
- 食料・飲料水や毛布等の備蓄の確保に加え、水が不要な液体ミルク・ベーバー歯磨き、蓄電池など品目拡充
- 水道管の耐震化を更に推進
- 避難ルート、支援車両の通行確保のため、計画的な道路整備、橋りょうの耐震補強
- まちの匠の知恵を活かし、木造住宅や京町家の耐震化・防火改修を促進

新しい市長には“松井こうじ”さんをよろしくお願いします!

京都府知事 西脇隆俊 京都市長 門川大作 文化首都京都を創る会会長 塚本能交 平井誠一 自民党京都府連会長 公明党京都府本部代表 立憲民主党代表 衆議院議員

2月4日(日)は投票日です。
必ず投票しましょう。

投票日当日に投票所に行けない方は、
2月3日(土)まで
期日前投票ができます。
※土曜・日曜も投票できます。

(裏面もご覧ください。)

京都市長選挙公報

京都市選挙管理委員会

これでいいのか 今の京都市

政党や既得権益に忖度し、改革できずに財政難に直面した京都市。
市民サービス低下で困る人が増え、若者や子育て世代も流出している。
私は、政党の支援を受けず、公平公正な政治でこの閉塞感を打ち破ります!



完全無所属 二之湯 真士 にのゆしんじ 44歳

財政を4年で1000億円改善

ムダをやめる

新しい財源を作る

公共交通改革

- 京都府との二重行政を大胆に廃止する
- 市民以外の宿泊税を国際水準に引き上げる
- 地下鉄を5分間隔に増便乗客5%増で増益も可能
- 京都の負担1兆円を超える北陸新幹線現ルート見直し
- ”インフラ整備協力金”徴収
- LRT(路面電車)導入で黒字化を目指す
- 有料拝観の社寺に求める(2008年調査 約30億円/年)

- 経営支援のプロを集結、大学の研究の事業化を促進、働く人の所得を上げる事業者に減税
- 行政改革の成果を市民サービスに還元(学校跡地の公園や文化・スポーツ拠点、市営交通の市民割引バス)
- 保育園第一希望者全入園、学童保育拡充、全員制中学校給食早期実現、外部専門人材と連携した塾や習い事に依存しない
- 義務教育へ
- 私立高校生の学費を助成、奨学金の返済を支援
- 周辺部の公共交通を充実、農業・山間地域に特化した部署設置、市政協力委員や自治会などの見直し、●女性の活躍、高齢者の居場所作り、障害者の生活支援と自立、外国人との共存を進める

差いかで京都を変える!

1979年京都生まれ、西院小、西院中、山城高、早稲田大卒。
2007年京都府議会議員(京都市右京区)初当選、5期。京都府議会第72代副議長、京都芸術大学産学公連携本部特別顧問歴任。現在、自然幼稚園理事、太秦小学校PTA会長。妻・子3人。



京都市は京都市外のための行政を行う前京都
市長であったため京都市は今の現状となった。

文化首都案は前市長による市政の集大成であり
前市長の姿勢をはっきりと現したものである。

前市長による市政の結果、京都市は今の現状とな
った。

高家悠候補については、
法定期限までに顔写真の
提出がありませんでした。

京都を平安に 平安保守 高家 悠

政策

- 1 ホテル民泊等の宿泊税を上げ、月10万円程度を基本的人権の保証のため資産に応じて個々の市民の方の申請の上補償する。
- 2 京都市への北陸新幹線とモノレール案は廃止凍結し、前市政の町の再開発案を撤回、景観規制(高さ)を強化もしくは維持する。
- 3 文化首都案は廃止する。
- 4 京都市の安全の復興のため、法を実際に執り行い町の治安を回復させ京都市の平安を復興する。

平安保守党
高家 悠
京都市上京区生

2月4日(日)は投票日です。必ず投票しましょう。

投票日当日に投票所に行けない方は、
2月3日(土)まで
期日前投票ができます。
※土曜・日曜も投票できます。

(裏面もご覧ください。)